## 事業所名 グループホーム黒崎

## 目標達成計画

作成日: 平成 23 年 5 月 25 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	27	災害対策については、年2回避難訓練を実施している。 夜間想定については、今年度より計画している。 避難場所や誘導については、 職員に周知しているが、地域との協力体制の構築は、今後の課題である。	今年度より、昼間・役間想定の避難訓練を年2  回以上行う。また、非常災害時、地域との協力	平成23年4月27日、昼間・夜間想定の避難訓練を実施した。次回は10月に予定している。次回運営推進会議にて、避難訓練の結果を報告する。その際、今後の協力体制について、相談・検討する。	3ヶ月
2		町内会に入会し、町内の活動や市民センターの 様々な行事に参加しているが、地域の一員として、 日常的な交流の機会は少ない。	グループホームだけではなく、家族・地域・社会との日常的な関わりを持ち、地域の一員として暮らし続ける。さらに、地域の福祉の拠点として、ニーズや要望に応え、地域密着型サービスの役割を果たす。	運営推進会議にて、家族や地域住民に対して今後の活動予定を報告し、参加を呼びかけた。また、地域行事や日々の活動(安全パトロール・清掃活動)など、地域貢献に努める。	6ヶ月
3		現在、計画作成者を中心に本人・家族・その他関係者と共に介護計画を立案している。今後は、さらにその人らしい、具体的な目標を設定し、プラン作りの必要性がある。	関係者全員によりアセスメントを行うことで内容 を充実させ、ケアプランに活かし、より良いサー ビスの提供に努める。	関係者間、特に訪問看護との情報共有に努め、入 居者が安心して生活できる体制作りに努める。ケ アプラン作成に於いても、医学的な視点からの意 見を参考に連携して立案する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して〈ださい。